



ハーベスタ、スイングヤードなど  
林業機械の特別教育を修了しました

## みどりの 女神が行く!

のなか あおい  
野中 葵

福島県生まれ、  
千葉県育ち。  
趣味は音楽鑑賞と  
お散歩



林業機械の特別教育を  
受講しました!

群馬県沼田市にある森林技術総合研  
修所 林業機械化センターで林業機械  
の特別教育を受講しました!

林業機械化センターは国有林を  
フィールドに林業機械の実習を行って  
いる国の研修施設です。国有林の豊か  
な資源が技術者の育成のためにも活用  
されています。

林業用の機械を目の前にすると、と  
ても大きく迫力がありました。講習を  
受けてまず思ったことは、とにかく安全  
を第一に考えること。機械の操作手  
順や必要とされる知識も、すべては安全  
に作業を行うためのものでした。

大きな重い木も、機械を使えば私  
でもレバーの操作ひとつで簡単に動かす  
ことができますが、一つ間違えれば悲  
しい事故につながりかねません。林業  
の現場で働いていらっしゃる方々が安  
全に機械を動かし、

伐採して、木を運ん  
でいるからこそ、消  
費者の私達は木材を  
使えています。木  
製品を使うときには、  
森林の恵みに感謝を  
すると同時に、作業  
されている皆さんの  
安全をお祈りしたい  
と、この講習を通じ  
て改めて感じました。

福島県、秋田県での緑化行事に参加しました

来年の全国植樹祭は、震災後の被災地では初開催となる福島県南相馬市を主会場  
に行われます。開催まで1年を切った6月11日、福島県伊達市の霊山こどもの村に  
て「全国植樹祭1年前記念イベント」に出席しました。私が生まれた福島で昔から  
見慣れていた美しい山々の中での出演はとても嬉しかったです。

式典では、今年の開催地である富山県から引き継ぎを受けた木製地球儀を、内堀  
雅雄福島県知事と一緒に県民のみなさまにお披露目しました。

式典ではさらに吉野正芳復興大臣からお預かりしたメッセージを私が代読しまし  
た。吉野大臣は福島県出身で木材、林業についても詳しいこともあり、福島県民の  
皆さんに寄り添う強い思いがこめられていました。

被災地で開催される全国植樹祭にはこれまで以上に強い意味があると思います。  
多くの方に足を運んで貰いたいと思いますし、私もぜひ参加したいと思えます!  
7月8日に開催された「あきた水と緑の森林祭」では植樹とトークショーに出演  
しました。三天美林に数えられる秋田県の秋田スギと青空の鮮やかなコントラスト  
がとても美しかったです。

私が植えた木も何十年か後に大きく成長して収穫され、誰かの手に送り届けられ  
ると想像すると、とても感慨深いです。未来の世代が木を生活に取り入れて豊かな  
暮らしをするために、わたし達に今できる事。それは、森林を守るために地域の多  
くの人と一緒に、未来のために汗を流すことです。  
植樹には、世代を超えた人と自然の愛を感じます。



「全国植樹祭1年前記念イベント」に参加された皆さんと



「あきた水と緑の森林祭」での植樹